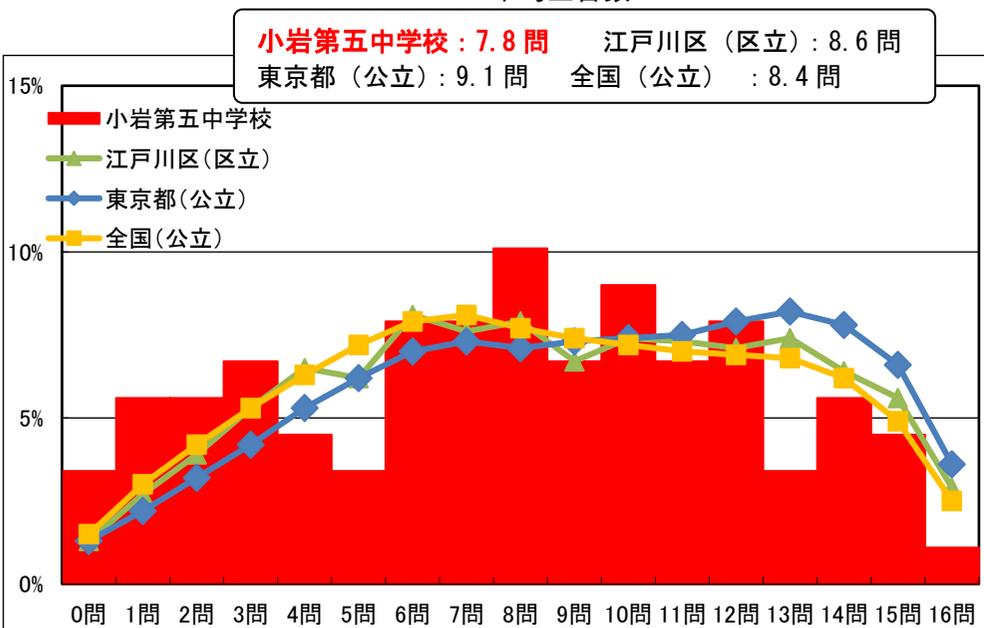


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【数学】 小岩第五中学校

正答数分布

平均正答数

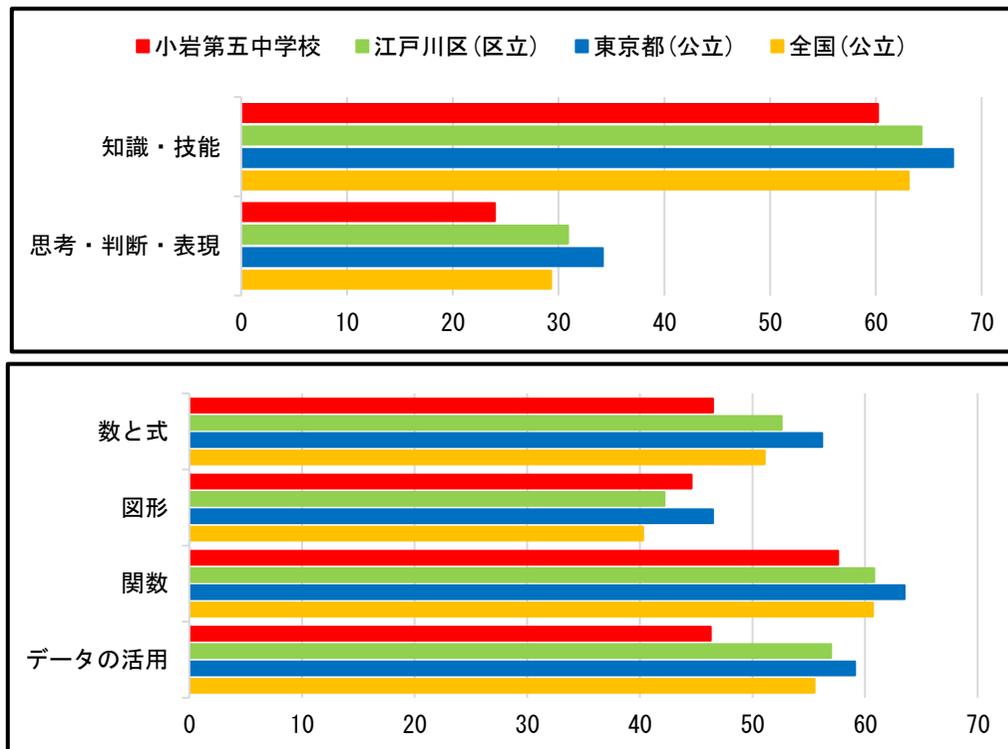


<四分位における割合(都全体の四分位による)>

数 学	上 位 ← 下 位			
	A層 13~16 問	B層 9~12 問	C層 6~8 問	D層 0~5 問
小岩第五中学校	14.6	30.3	25.9	29.2
江戸川区 (区立)	22.3	28.5	23.6	25.6
東京都 (公立)	26.2	30.1	21.4	22.3
全国 (公立)	20.4	28.5	23.7	27.4

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の 1/4、2/4、3/4 にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都 (公立) のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

小岩第五中学校	49%
江戸川区 (区立)	54%
東京都 (公立)	57%
全国 (公立)	52.5%
都との差	8ポイント

%

【分析結果と授業改善に向けて】

東京都の平均とは 10 ポイント近く差があるが、特に思考の分野に大きく課題がある。記述解答の問いに対して無解答の割合が高い。反面、合同の証明の問いの正答率が高いため、自由度のある問題に苦手意識があると考えられる。合同の証明のように型を決められる問いを穴埋め形式から始め、徐々に記述の量を増やしていく。